

## <教育論文の応募者様>

教育論文の応募ありがとうございます。

応募に当たっては募集要項をよく見ていただき、下記のことにご注意して応募をしてください。

### 記

#### 1 応募の仕方

送信するデータは、「応募票」と「応募チェック表」と「論文」の3種類（添付資料がある場合は「添付資料」を含めて4種類）に分けてください。

「応募票」「応募チェック表」「論文」「添付資料」はPDFにしてください。データ容量が大きい場合は2つに分けてもかまいません。

#### 2 応募規定の厳守

毎年、表に示すような規定外になる論文が見られます。

#### 規定外論文の状況

年度	応募数	規定外	規定外の内容
令和4年度	161点	9点	<ul style="list-style-type: none"><li>・指導案(指導計画を含む)が1ページを超えている 3点</li><li>・字数やページ数が不足している 3点</li><li>・資料が多すぎる 2点</li><li>・応募の趣旨に合致していない 1点</li></ul>
令和3年度	148点	23点	<ul style="list-style-type: none"><li>・応募の趣旨に合致していない 2点</li><li>・本文内の資料が10点を超えている 7点</li><li>・指導案(指導計画を含む)が1ページを超えている 6点</li><li>・文字数が多い(46文字)1点、少ない(38文字) 4点</li><li>・行数が多い(53行) 1点</li><li>・ページ数不足(10枚) 1点</li><li>・弘済会と同じものを出している 1点</li></ul>
令和2年度	112点	9点	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料が多すぎる 3点</li><li>・指導案が多すぎる 2点</li><li>・本文の枚数不足 2点</li><li>・行数が多すぎる 1点</li><li>・弘済会と同じもの 1点</li></ul>

令和元年	174点	16点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案が多すぎる 9点</li> <li>・文字数・行数不足 2点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘済会と同じもの 3点</li> <li>・資料が多すぎる 2点</li> </ul>
平成30年	181点	34点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案が多すぎる 8点</li> <li>・42文字×40行になっていない 6点</li> <li>・目次や概要が抜けている 4点</li> <li>・本文の資料が不明 2点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘済会と同じ論文 6点</li> <li>・資料が多すぎる 5点</li> <li>・枚数不足 2点</li> <li>・研究主題が抜けている 1点</li> </ul>

- ・資料が多すぎたり、指導案や指導計画を1ページ以上入れたりする論文が目立ちます。
- ・指導案全文を資料とする場合は別添資料としてください。
- ・別添資料は10ページ以内とします。
- ・資料の掲載については次の例を参考にしてください。

### 例1

#### A4判全面使用

資料1《研究の構想図等》

※ 研究の構想図は、一般的にA4判全面を活用している例がみられる。

※ A4判内で処理する。

### 例2

#### 写真一枚添付

資料2《授業風景》

写真

※ A4判内で処理する。

### 例3

#### 写真二枚添付

資料3《授業風景》

写真

写真

※ 資料3として、写真2枚提示。この場合は、なぜ2枚必要か問われる。

※ A4判内で処理する。

### 例4

#### 感想文添付

資料4《6人分提示》

A男

B女

C男

感想文

感想文

感想文

D女

E男

F女

感想文

感想文

感想文

※ 資料4として、感想文6人分提示。この場合は、なぜ6人分必要か問われる。

※ A4判内で処理する。

### 例5

#### アンケート添付

資料5《6項目提示》

A項目

B項目

C項目

アンケート

アンケート

アンケート

D項目

E項目

F項目

アンケート

アンケート

アンケート

※ 資料5として、アンケート6項目提示。この場合は、なぜ6項目必要か問われる。

※ A4判内で処理する。

### 例6

#### グラフ添付 作品添付

資料6

一点添付

一点添付

グラフ

作品

※ A4判内で処理する。

\* 応募チェック表を活用し、規定外論文にならないようご注意ください。

3 審査について

提出された論文は茨城県教育研究会の正副部長132名で一次審査を行い、その後茨城県教育委員会義務教育課指導主事20名で二次審査を行います。審査の基準は下記の通りです。

茨城県教育研究会

論文番号( )		部門( )			
題名					
審査基準			評点(5点法)		
1 主題に対し、研究の進め方は適当か					
2 確かな論拠に基づき、論旨は明確か					
3 内容に独創性があるか					
4 実践(研究)の積み上げがあるか					
5 教育上または研究上の利用価値はあるか					
6 論文の体裁はどうか 論文の構成、制限枚数、誤字脱字 資料、参考文献など					
計					
合計					
概評					
審査員 氏名					